

エコロ 後藤雅晴 社長の

連載

## ここに注目!! プラリサイクル(1)



排出元の協力が  
不可欠

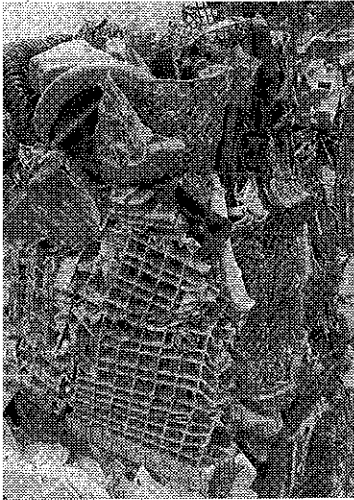
中国や台湾、韓国、

東南アジアなどのリサイ  
クルに関する政策や  
市場の変化が目まぐる  
しい中で、従来の買取

# PE、PPを探り出す

のような中で、「廃  
プラ」「プラごみ」と  
して排出されている  
ものをいかにして再  
生利用していけばよ  
いのか。気鋭のリサ  
イクル、エコロの  
後藤雅晴社長が切り

後藤雅晴社長が切り



業者から「もう買い取  
れませんか」と言われて  
排出事業者などでも  
「これまで行ってきた  
分別を続けるべきか、  
分別せずに『廃プラ』  
として処分した方がよ  
いのか」と悩んでいる  
方は少なくないだろ  
う。

高グレードのプラスク  
E、PPで「分別され  
ていないもの」「水で落  
とせるような汚れが付  
いているもの」をター  
ゲットにした。

そのきっかけは、2  
013年に中国が「雑  
プラ」の輸入規制とし  
て発令したグリーンフ  
クスプラや汚れ付きの  
プラでも、汎用樹脂と  
して多量に排出され、  
再生材も需要がある物  
を絞り込んで対応する  
ことだと思う。

この取り組みは、排  
出事業者などによるポ  
リエチレン(PE)や  
ポリプロピレン(PP)  
などの分別への協力が  
不可欠になる。

それと同時に、私ど  
もの会社では、分別し  
てもらった硬質PE、  
PPを粉砕、洗浄する  
設備を導入した。分別  
したものをきちんと洗  
浄すれば需要はあると  
読んでいた。(つづく)

今冬の時点では、昨  
年秋に条件付きで輸入  
を再開したマレーシア  
などもあり、一息つい

ているケースもあると  
思うが、長期で見れば  
規制は厳しくなっても  
緩くなることはない  
と考えた方がいい。

現在、日本国内で課  
題になっているのは、  
OG品をはじめとする

粉砕・洗浄から開始